

学校名	多良間村立多良間小学校	活動テーマ	漂着ゴミを調べよう！
実践の概要・ねらい	<p>人口 1200 人ほどの多良間島は、貴重な自然・文化が残る島だが、多量の海洋ごみが漂着し、景観を損ね、生態系や島民の生活への影響も心配されている。離島の漂着ゴミは、拾ってもきりが無い、回収ゴミの運搬費用が高いなどの問題で対策があまり進んでいないのが現状だ。</p> <p>5 年生は、2015 年から宮古島での宿泊学習において外部講師を招いて漂着ゴミ調査、環境学習をしている。今活動は 5 年生の宿泊学習に引き続き、6 年生になって多良間島の漂着ゴミ調査、海洋ゴミの原因、生態系への影響を考える環境学習を継続的に行い、漂着ゴミに関する知識をより高め、自分たちの島の海を守ろうという意識付けを定着させることを目的とする。</p>		
実践計画	<p>①テーマ・概要・活動計画・教科などとの関連 学校において多良間島の自然や環境を学ぶ機会が少ないので、環境問題となっている海岸ゴミをテーマにして宿泊学習と総合の学習において地域の環境を学ぶ。</p> <p>②実践の評価について 外部講師によって新たな視点で地域の自然に目をむけることができる。</p>		
今年度の実践	<p>①計画からの追加・変更点 5 年生時に行った漂着ゴミ調査に加え、新たに近年問題となっているマイクロプラスチックゴミについて触れるための調査を体験した。</p> <p>②実践の成果 昨年の台風により海外から大量の木材が漂着し、漂着ゴミ調査やマイクロプラスチック調査をするポイント選定に少し苦労した。</p> <p>③次年度への課題 ゴミのデータが蓄積してきたので、経年変化についても見ていきたい。</p>		
主な連携機関及び内容	<p>共同実施団体：特定非営利活動法人 宮古島 海の環境ネットワーク プログラムコーディネーター・講師</p>		

# 5・6年「海岸漂着ゴミを調べよう！」

【主な連携機関と内容】  
 ・特定非営利活動法人  
 宮古島 海の環境ネットワーク  
 プログラムコーディネート・講師

## 【実践のねらい】

人口 1200 人ほどの多良間島は、貴重な自然・文化が残る島だが、多量の海洋ごみが漂着し、景観を損ね、生態系や島民の生活への影響も心配されている。離島の漂着ゴミは、拾ってもきりが無い、回収ゴミの運搬費用が高いなどの問題で対策があまり進んでいないのが現状だ。

漂着ゴミ調査、海洋ゴミの原因、生態系への影響を考える環境学習を継続的に行い、漂着ゴミに関する知識をより高め、自分たちの島の海を守ろうという意識付けを定着させることを目的とする。

○時数 5年生 6月3時間（総合的な学習の時間） 6年生 12月3時間（総合的な学習の時間）

○関連 総合的な学習の時間

- 目標
- (1)自分たちで調査、環境学習を体験、さらに自分に何が出来るかを話し合うことで海に対する興味、環境意識が高まる。
  - (2)漂着ゴミ調査を継続的に行うことで、データの信頼度が高まり、地域のゴミ対策へ活用することも可能になる。
  - (3)これは生徒たちが、単に海岸清掃をするよりも、家庭でのゴミ削減の取り組みや、地域のための取り組みへの意欲を高める効果がある。
  - (4)生徒にとって調査のやりがいを高めることができ、継続性につながる。また、世界の他の地域と比較ができることで、視野も広がる。

